

ルワンダ農村地域の母子の栄養改善へ 熊本発“ふりかけ”技術でJICA基金活用事業開始！

独立行政法人国際協力機構九州センター（所在地：福岡県北九州市、以下「JICA九州」）は、一般社団法人国際ふりかけ協議会（所在地：熊本県熊本市、以下「国際ふりかけ協議会」）と協力し、2026年2月より、JICA基金活用事業「ルワンダ産『ふりかけ』を活用した農村地域における母子の栄養改善支援事業」を開始しました。

本事業は、国際ふりかけ協議会によるふりかけ製造ノウハウを活かし、アフリカ・ルワンダ共和国の農村部における母子の栄養改善を目的に、地元食材である魚粉などを活用した「ふりかけ」の開発・普及を、現地の女性グループと協働して行います。2026年2月～2027年2月の事業期間中、2回の現地渡航を通じて「ふりかけ」試作品の開発を行い、栄養教育ワークショップを実施する予定です。

（注）ルワンダ共和国政府が実施した調査では、農村部の子どもにおいて貧血・鉄欠乏・ビタミンA欠乏などの深刻な栄養課題が明らかになっています。妊産婦も同様に栄養リスクを抱えており、母子の健康改善が急務となっています。

（注）熊本県はふりかけ発祥の地の一つとして知られています。国際ふりかけ協議会は、熊本において「全国ふりかけグランプリ」を主催しています。

1. 事業概要

- ・事業名：ルワンダ産「ふりかけ」を活用した農村地域における母子の栄養改善支援事業
- ・実施地域：ルワンダ共和国 ルワマガナ郡ムシャセクター
- ・期間：2026年2月～2027年2月
- ・受益者：妊婦、子ども、女性グループ「AVEGA Musha」ほか

2. 問い合せ先

【本件に関する問い合わせ先】
JICA九州 市民参加協力課 小坪 TEL 093-671-6311 e-mail : Kotsubo.Suzue@jica.go.jp

■独立行政法人国際協力機構（JICA）について

JICAは、開発途上国が直面する課題を解決するため、技術協力、有償資金協力、無償資金協力など日本の政府開発援助（ODA）を一元的に担う二国間援助の実施機関で、150以上の国と地域で事業を展開しています。

国際社会の課題は日本とも密接に関係しています。国内外のパートナーと協力してそれらの解決に取り組み、世界の平和と繁栄、日本社会の更なる発展に貢献します。

詳しくは <https://www.jica.go.jp/index.html> をご覧ください。

■JICA基金活用事業

「世界の人びとのための JICA 基金活用事業」（以下、JICA 基金活用事業）は、市民の皆様、法人・団体の皆様の「国際協力活動を応援したい」という思いのこもった寄附金により運営しています。